

平成 28 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社 A C K グ ル ー プ
代 表 者 名 代表取締役社長 野 崎 秀 則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 番 号 2 4 9 8)
問 合 せ 先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

焼津市内における交流・観光機能の強化に関する共同研究

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）（以下、OC という。）は、焼津市と共同で、焼津市内における交流・観光機能の強化に関する共同研究を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 背景

焼津市は、「暮らしに必要な様々な機能の拠点となる場所を効率的かつ適正に配置したまちづくり」を進めるため、「にぎわい」や“おもてなし”、“あんしん”等につながる事業を推進する「拠点」を設け、新たな魅力を創造し、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。この基本方針のもと、観光においても国内外からの来訪者を増やし、市内の観光資源を磨くとともに各観光資源の連携を図り、周遊を促す等により観光活性化を図っています。

「まちづくり」や「観光活性化」を効果的・効率的に進めるためには、定量的なデータを用いた科学的な分析に基づく、的確な施策の展開が必要です。このため、以下に示す最新技術を活用した交通データの収集、分析を行い、今後の施策に活用するため、OC と焼津市が協働して研究を進めることとなりました。

2. 共同研究の目的

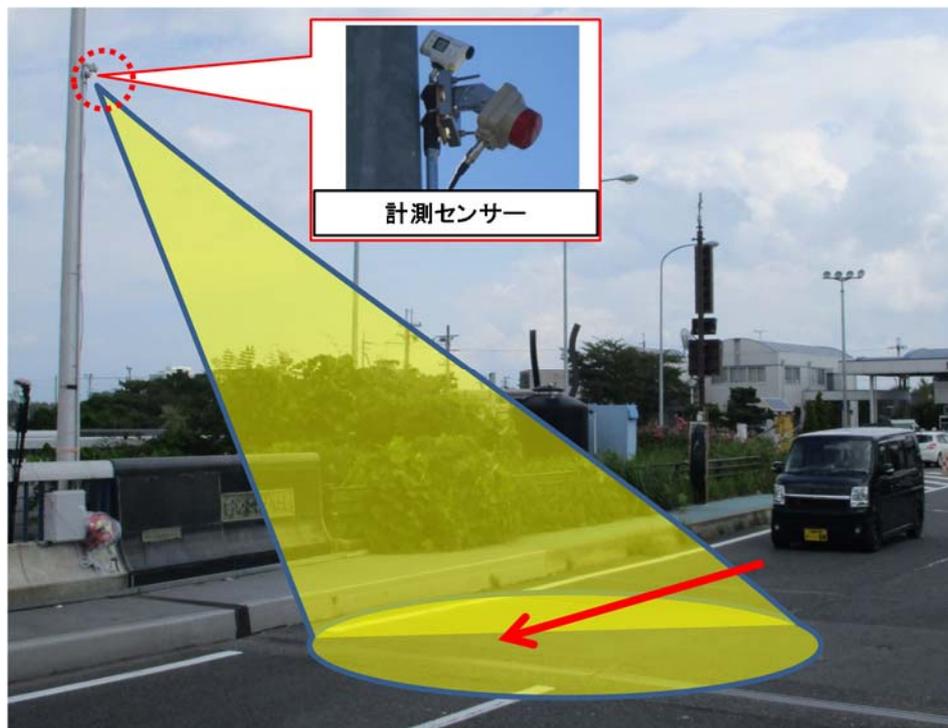
「まちづくり」および「観光活性化」を図るため、OC が焼津市に提供する「最新の計測機器を用いて得た交通データ」を活用し、以下を目的に、実証実験を協力して推進します。

- (1) 観光流動の実態把握
- (2) 今後の交流・観光機能の強化に資する実態評価
(施策実施時の比較データとなります)

3. 共同研究の内容

- 1) OC が保有する交通データ計測機器を設置し交通データを取得します。(12/16～12/18)
実施場所： 焼津市内 12 か所に読取無線機を設置
(焼津さかなセンター、花沢の里、焼津漁港、井伊直孝産湯の井 など)
- 2) 上記 1) で得られたデータを分析し、観光流動の現状を把握します。また、今後の施策実施時に比較できる基礎データとして蓄積するとともに実態を評価します。
- 3) 3 月頃は観光客が多いので、2 度目の実証実験を予定しています。

■交通データ計測機器による観測イメージ



■観測箇所の例（出典：焼津市ホームページ <http://www.city.yaizu.lg.jp/kanko/info/1-2-3.html>）

万葉のふるさと花沢の里（焼津市花沢）

万葉集に「やきつべに我行きしかば駿河なる阿部の市道に逢いし児らはも」と詠まれた奈良期の東海道と云われる「やきつべの小径」に花沢の里があります。ここには、長屋門造りの民家があり、風情ある伝統的な家並みが昔の街道の面影を偲ばせてくれます。



＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL: <http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、伊藤